

Netflix(NFLX)

【セクター】 通信サービス

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

オンデマンドで映画・ドラマなどの動画コンテンツをネット配信する事業をグローバルに展開、米国では月額9～16ドル（19年1月の値上げ後）で提供しています。ケーブルTV加入者の平均月額60ドル程度に比した料金の安さやパソコン、モバイル機器などの複数端末で視聴できる便利さが受けて加入者が爆発的に増え、現在は海外市場も伸び盛りです（図表1）。19年9月末の世界加入者件数は1億5,833万件（うち米国が6,062万件）に達しています。

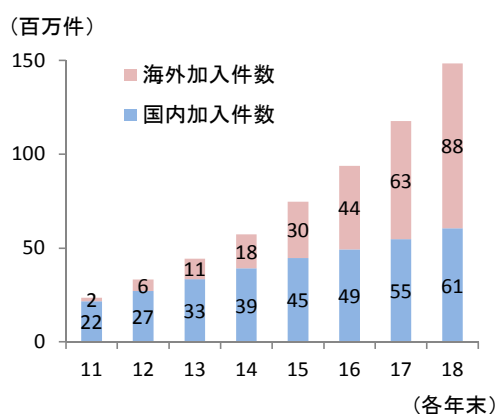
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

| 決算期 | 売上高 | 純利益 | EPS | DPS | BPS | ROE | 自己資本比率 |
|-----------|--------|-------|------|------|------|------|--------|
| 17年12月期 | 11,693 | 597 | 1.33 | 0.00 | 8.3 | 19.1 | 18.8 |
| 18年12月期 | 15,794 | 1,211 | 2.68 | 0.00 | 12.0 | 27.5 | 20.2 |
| 19年12月期予想 | 20,141 | 1,875 | 3.93 | 0.00 | 16.3 | 24.2 | - |

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 加入者件数の推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 メディア大手のコンテンツ支出（18年の推定値）

| | |
|---------|----------|
| Netflix | 70-80億ドル |
| ESPN | 70-80億ドル |
| アマゾン | 50億ドル以上 |
| NBC | 48億ドル |
| CBS | 39億ドル |
| Hulu | 30億ドル以上 |
| HBO | 20-25億ドル |

(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

インターネットTV市場は、「リニアテレビ」（番組の順番が変えられない従来型テレビ放送）からオンデマンドテレビへのシフトに加え、これまで国ごとに分断されていたテレビ放送市場の一部がグローバルに統合されるため、巨大な市場になると考えられます。同社はドラマ・映画制作に業界最大級の支出を行うことで（図表2）魅力的なコンテンツを制作、新規加入者を獲得して同市場でトップの地位を占めています。これまでは「Amazonプライム・ビデオ」「Hulu」などが主な競合相手でしたが、19年11月からアップルとウォルトディズニーが参入してきます。競合について同社は、インターネットTV市場ではコンテンツの内容により複数の勝者があり得るとし、勝ち残りの1社を賭けた熾烈な競争にはならないと考えています。

【見通し・注目点】

7-9月期の新規加入件数は677万件でガイダンスの700万件を下回りました。10-12月期の新規加入件数ガイダンスは、「Disney+」「Apple TV+」の新規参入の影響を考慮して、前年同期比14%減の760万件としました。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/10/23)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。